

**日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会**  
**第42回廃止措置分科会（R3SC）議事録**

1. 日時 2017年6月13日（火） 13:00～15:30
2. 場所：日本原子力発電（株） 本店 2階 第3, 4会議室
3. 出席者：岡本主査、松原副主査、田中幹事、生駒、石倉、石原、岩田、梶谷、黒川、小山、杉山、立花、田村、鳥居、深田、松嵐、見上、湊、（19名）
  - 常時参加者：工藤、佐藤、松居、山岡、高橋（信）、高橋（宏）、中野
  - 説明者：堀川、水越、清水
  - 聴講者：天野、上野、杉村、門林、仲田
  - 欠席委員：炭谷、高田、丹沢、三橋

4. 配布資料

R3SC - 42-1 人事案件

R3SC - 42-2 （社）日本原子力学会 標準委員会 基盤・応用技術専門部会  
第41回廃止措置分科会（R3SC）議事録（案）

R3SC - 42-3(1) 実用原子炉施設等の廃止措置の計画（案）：20XX 指摘事項管理表

R3SC - 42-3(2) 主要課題に対する対応提案

R3SC - 42-3(3) 主要課題に対する対応提案の補足説明

R3SC - 42-3(4) 標準 本文4章イメージ

R3SC - 42-3(5) 原子炉施設の廃止措置の計画と実施の区分図

R3SC - 42-3(6) （参考資料）日本原子力学会の目的、原則とIAEAの安全要件の対応表

R3SC - 42-4 原子力学会 秋の大会の発表について

5. 議事

(1) 出席者／資料確認

開会時に委員17名（2名遅刻）が出席しており、定足数を満たしていることを確認した。

(2) 【審議】人事案件

なし

(3) 【審議】前回議事録確認

出席者確認の「定数」を「定足数」に修正することで、承認された。

(4) 【審議】第41回分科会における指摘事項での課題と対応

R3SC - 42-3(2)及び(3)で、前回の指摘事項に対する課題とその対応案が説明された。主な質疑、指摘事項は、次の通りである。

- ・指摘事項に対する対応案（R3SC - 42-3(2)）は、特にコメントなかった。
- ・議論が発散することから、標準の目的（序文）及び適用範囲を踏まえ、議論する必要がある。

現行の計画標準では、廃止措置の計画及び廃止措置の計画の立案のための技術的要求事項を定めることとなっているため、それを意識して改定案を検討すること。

→拝承。

- ・ GSR Part6 には規制に係る内容、事業者が自主的に行う内容が混在しているため、それらの区分を明確にしてほしい。

→拝承。附属書（参考）や解説として、規制との関係を整理する。

- ・ IAEA の安全基準の体系は、上位から

安全原則（SF）→安全要件（GSR、SSR）→安全指針（GSG、SSG）→参考（SRS）

となっている。

原子力学会標準は、安全原則（SF）に相当する標準委員会技術レポート『原子力安全の基本的考え方について』と安全指針（GSG、SSG）に相当する廃止措置の計画標準及び実施標準が存在するが、安全要件（GSR、SSR）に相当する文書はない。

標準委員会技術レポート「原子力安全の基本的考え方」に沿って、IAEA の安全基準等を参考としながら、廃止措置に求められる要件（GSR Part6 に相当する資料）を別途制定することを目指し、計画標準の改訂と並行して検討することとなった。

- ・ “GSR Part6 に相当する資料”を別途制定することについて、岡本主査が8月の専門部会に諮ることとなった。

#### （5）【審議】本文4章改訂案

R3SC - 42-3(4)及び(5)を用いて、本文4章改訂案の説明があった。主な質疑、指摘事項は、次の通りである。

- ・ GSR は途上国への情報提供の意味合いもあり、政府、規制機関への要件が記載されている。計画標準の目的及び適用範囲を踏まえ、技術的要求のみを計画標準の本文、附属書（規定）としてまとめること。

→拝承。

- ・ 計画標準の適用範囲の話題が出たが、適用範囲には全ての研究炉が含まれるのか？

→計画標準の対象となる研究炉はふげん及びもんじゅである。

- ・ 4.1.7 項「総合管理システム」のタイトルは「総合マネジメントシステム」に改めること。

→拝承。

- ・ GSR Part6 で「規制機関の承認を受けるもの」等の要求事項は言わずもがなであるため計画標準の本文からは削除し、附属書（参考）や解説とすること。

→拝承。

- ・ グレーデッドアプローチは、附属書（参考）に具体例を示すよう検討すること。

→拝承。

#### （6）原子力学会 秋の大会の発表について

R3SC - 42-4 により、9 月に開催される原子力学会 2017 秋の大会の発表について報告があった。  
R3SC - 42-4 の記載を原則にして、発表の登録を行う。

(7) その他, スケジュール等

- 1) 岡本主査より、7 月 25 日開催予定の原子力施設の廃止措置ワークショップについて紹介があった。
- 2) 資源エネルギー庁が主催する国際廃止措置ワークショップについて、田中幹事から紹介があった。
- 3) 次回分科会 : 7 月 19 日 (水) 13:00~ 原電会議室

以上